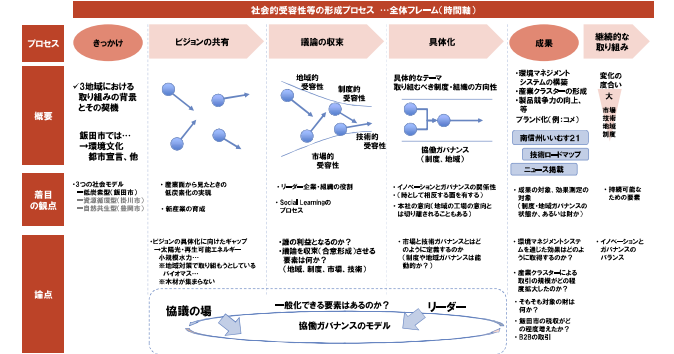


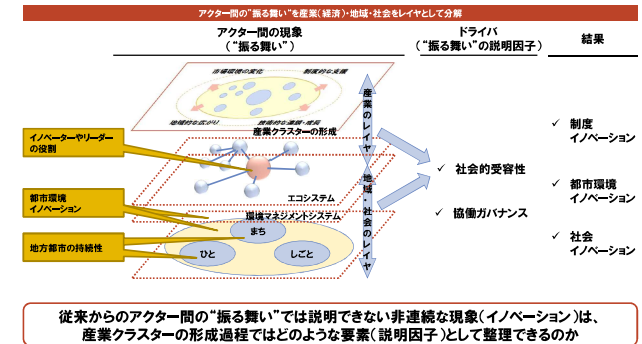
今年度の調査研究にて明らかにしていく事項 …全体フレーム(時間軸)

社会的受容性の4要素(技術、制度、経済、地域)の関係性を整理するうえで、他の調査地域との整合性も考慮しながら、持続可能な都市の形成の要素を明らかにしていく



今年度の調査研究にて明らかにしていく事項 …全体フレーム(空間軸)

社会的受容性等の形成プロセスの特定の断面について、アクター間の相互関係を検討する際には、アクター同士がどのような“振る舞い”を起こしているのかを、ヒアリング調査を加味しながら整理を進めていく



検討事項1 …飯田市における産業クラスター形成の現状と課題整理

初期見解

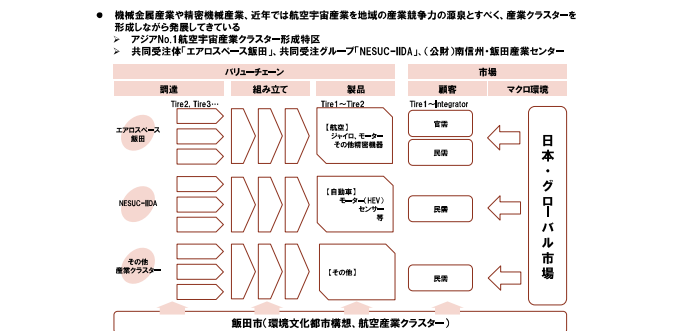
- 2000年代以前の産業クラスターは地域内の企業間の取引・交渉力のバランスを保つために形成されてきた
- 例えば、多摩川精機(交渉力:大)、そこへ納入する企業(交渉力:小)との間バランスを確保
- 2000年代以降の産業クラスターは、グローバルな産業競争力向上の観点から、地域を超えたエコシステムを形成するために政府も積極的に後押ししてきている
- 航空宇宙産業
- 阪神市は、上述(2000年代以前、2000年代以降)の産業クラスター形成に行政・企業が主体的に関与している
- その結果、中小企業の個社の技術力が向上してきていることで、様々な派生製品を生み出す潜在的な力を保有している
- 現状は産業間の水平的な連携の必然性が低いことから、個別の要素技術力の向上に留まっている面もある

初期仮説

- 産業クラスター形成の2つの大きな波に乗って、他社の(要素)技術力の向上を実現してきている
- その過程において、行政の支援(経済的、制度的)による面と、地域の主体的なTire1サプライヤ(多摩川精機)の与えた影響が大きい
- 今後は産業間(加工産業、電子産業)の組み合わせ、製品インテグレーションに向けた能力確保に向けた取り組みが必要

検討事項2 …企業間取引並びに自治体との関係性の整理

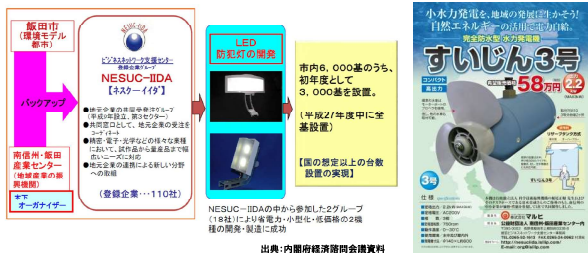
中核企業(多摩川精機)を中心としたバリューチェーンに着目して、関連する産業クラスターにおける個社(Tire2、Tire3…)や自治体の関係性を明らかにしていく



検討事項3 …個人(市民)レベルにおけるイノベーション形成の土壌の把握

所属する企業・組織の枠を超えた新製品開発の取り組み等が進められているのか否かや、事業化に向けた取り組みはどの程度進められているのかについて明らかにしていく

- LED防犯灯開発プロジェクト



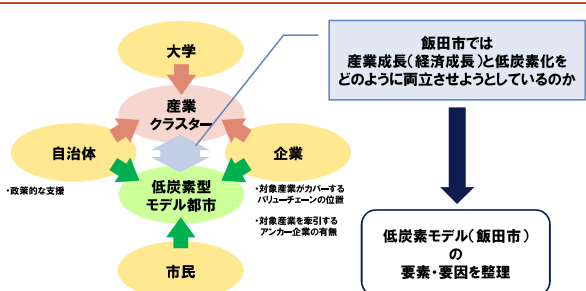
- マイクロ水力発電「すいじん3号」

着目観点 従前の環境マネジメントシステムを通じた活動が契機となっているのか、
或いは産業クラスター形成の過程で派生プロジェクトとして形成されてきているのか

検討事項4 …社会的受容性の要因整理・まとめ

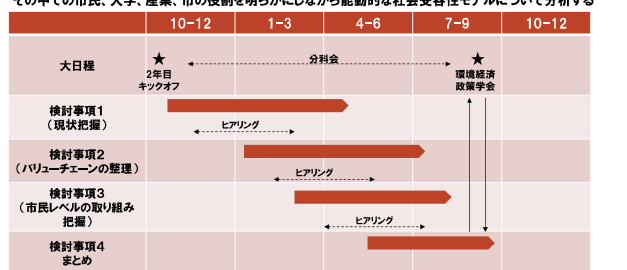
社会的受容性の要因整理・まとめに向けての論点

新産業クラスター形成の取り組みを推進している飯田市において、これまでの低炭素型モデル都市の取り組みと、どのように整合性を図りながら持続可能な都市を形成していこうとするのか



今後の予定

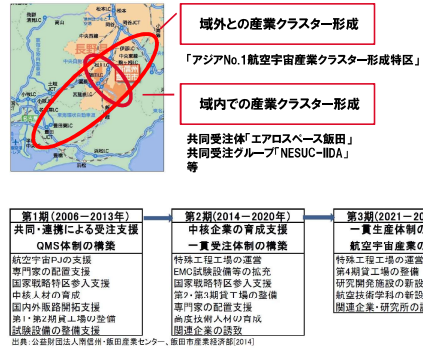
- 初年度の研究成果を踏まえて、各検討のフェーズにおいて、関係企業・団体等へのヒアリングを適宜実施しながら、研究成果の取り纏めを進めていく
 - 2年次の最終には、当該成果を環境政策学会にて報告する（※以下はジャーナルレベルの仮タイトル）
 - 「動機社会的な受容性モデルに基づく再生可能エネルギー事業の分析（升本）」
 - 「低炭素型都市における持続可能な産業成長モデルの分析（渡邉）」
 - 飯田市において低炭素型モデル都市を形成しながら、どのようにして産業成長を両立させようとしているのか。



APPENDIX

近年は域外との航空宇宙産業クラスター形成に向けた取り組みに力を入れている

航空宇宙産業の取り組み



産業クラスターの形成によって制度政策や市場、地域、技術の変化を引き起こし、イノベーションの素地が作り出されていく

- 『新事業が次々と生み出されるような事業環境を整備することにより、競争優位を持つ産業が核となって広域的な産業集積が進む状態』（経済産業省）

中核企業を中心とした産業クラスターの形成イメージ

-

出典：産業クラスター政策について（経済産業省）
http://www.meti.go.jp/policy/local_economy/tikiinnovation/industrial_cluster.html

飯田市は、域内及び域外へ産業クラスターを形成してきている特徴ある地域

【参考】飯田市の航空宇宙産業における取り組み …エアロスペース飯田の設立

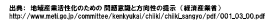
(取組概要)

- 飯田地区に新産業を育成するため、公益財団法人南信州・飯田産業センターを事務局として、既存の精密加工・電機電子関連企業を対象とした「飯田航空宇宙プロジェクト」を立ち上げて支援を実施。
- 具体的に、38社(2014年9月時点)が参加し、航空機部品の共同受注体制の構築や展示会出展等を通じた販路開拓支援、技術力向上のための人材育機会に取り組む。

◆地域共同受注生産体制の構築に向けた「エアロスペース飯田」の設立

航空産業における地域一貫生産体制を可能とする共同受注体制の確立を目指し設立。多摩川精機をはじめ、国内外機体部品メーカー等から受注した機械加工部品を生産。

クラスター事業の活動を通して、国内立地推進事業費補助金、地域企業人材育成事業等の資金獲得支援を実施するとともに、展示会出展をサポートする等により受注先の拡大においても支援を実施。



【参考】多摩川精機を中心とした飯田市の航空産業クラスターの形成



【参考】多摩川精機の航空機産業における位置づけ …これまでとこれから



【参考】多摩川精機の売り上げの推移

